

「令和7年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.7)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和7年7月29・30日（2日間）

研修先：農事組合法人宮守川上流生産組合
（遠野市）

■ 研修生について

岩手県内在住のLさん。「農業法人での仕事のやりがい、労働環境について研修を通して肌で感じて学びたい。」とチャレンジコースにお申込みいただきました。ご本人の意向により、顔にマスクをしています。

■ 研修先の概要

研修先のある地域は、中山間地域になります。ほ場整備が行われており、地域の水田100haのうち、70haを当組合が管理しています。

農業生産の協業を図り、生産性向上、組合員の協同の利益の増進を目的に、「一集落一農場」の実現を目指して活動しています。

6次産業化・多角化にも取り組み、どぶろく、ジャム・ジュース等を加工販売及び同地区以外からも加工を受託しています。

FB: <https://www.facebook.com/miyamori.joryu>

■ 研修の内容

ガイダンス（組合の概要）、水田畦畔の草刈り、トマトの収穫・管理作業、トマトハウスの管理作業、加工施設の見学を実施しました。



■ 研修の感想

- ・ 黙々と作業を行い、地味で大変でしたが研修できて良かったです。収穫は、採る楽しみがあったし、加工施設を見学できて良かったです。
- ・ 地域のよりあい、絆が無いと大変だと思うが、この組合は纏まりを感じ、うまく運営されていると思いました。



■ 研修先より

作業する方とも、とけ込んでいて良かったと思います。

■ 今後について

今後もいろいろ研修を受けながら、新規就農を検討して行きます。